

令和7年度 学校評価報告書

丹波篠山市立篠山中学校

校長 高森 俊広

1 学校教育目標等

<p>「未来を切り拓く基礎力・思考力・実践力をもち、支えあい学びあう生徒の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○未来を切り拓く・・・学び続ける、真実を見分ける、行動する ○基礎力・・・知識、技能 ○思考力・・・思考力、判断力、表現力等 ○実践力・・・学びに向かう力、行動力、人間性等 ○支えあい学びあう・・・対話、協力

2 今年度の重点目標

<ul style="list-style-type: none"> (1) さわやかな環境：安全安心な環境づくり (2) ささえあう仲間：将来や社会の糸口をつかむ仲間づくり (3) やくどうする授業：主体的・対話的で深く学ぶ授業づくり (4) まごころかよう学校：生徒と大人が真摯に向き合う学校づくり

3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
安全管理	安全・防災・健康教育	A	各種の健康に関する講演会や取り組みは計画通り実施でき、生徒への啓発が進んだ。避難訓練やシミュレーション研修なども万が一を想定して実施できた。
	安全意識の向上	A	生徒会でも全校生への啓発を行い、けがの件数は前年度よりも減った。ルールやマナーを守っている生徒も94%と多い。
生徒指導	生徒理解と発達支持的生徒指導の推進	A	定期的な教育相談や生徒指導委員会の開催によって職員の共通理解を図り、チームとして対応できた。
	不登校や問題行動、いじめの未然防止と早期解決	B	アンケートや教育相談で問題行動の早期発見と解決につなげ、概ね達成できた。しかし、SNSやインターネットに関しては指導が難しい。いじめ重大事態の疑い事案があったことには反省点もある。
学習指導	学習形態の工夫と授業改善	A	市の指定研究を受け、全職員が授業公開や研究授業に取り組み、授業改善につながった。個人思考からグループ協議、発表という授業スタンダードも確立し、授業が楽しく分かりやすいという生徒も前期89%、後期86%いる。
	家庭学習の充実と個別最適な学びの促進	B	スタディサプリの活用など、タブレットを使う授業や家庭学習に取り組めた。家庭学習については生徒への指導をしているが、自主的に進めている生徒は68%である。

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

- ・アンケートの結果からも重点目標については概ね達成できている。
- ・「ルールやマナーを守る」や「楽しく学校生活を送れている」生徒の割合が90%以上で、さわやかな環境づくりは十分に達成できている。「相談できる友達がいる」割合も92%と高く、支えあう仲間づくりも進んでいる。
- ・大多数の子供たちが楽しく過ごせていることがアンケートの数字に表れていて安心できた。
- ・きれいに清掃された校舎や生徒たちのあいさつ、明るい表情に嬉しくなる。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・自分に良いところがあるという生徒の割合が低くなってきているので、もう少し気を付けて一人一人を大事にしていく必要がある。
- ・1年生は「あてはまらない」の回答が多いので、来年度に向けて気を付けていく必要があるのではないか。学年が上がるにつれて積極的に指導されて視野が広がっている。
- ・インターネット、SNSの利用などは心配な面も多い。生徒会の決まりを守る生徒の割合もアンケートでは低下してきている。
- ・挨拶してくれる生徒も多く、地域の者としてもうれしくなる。保護者にもあいさつの必要性を説いてほしい。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
安全管理	<ul style="list-style-type: none">・交通安全指導や防災教育が計画的に実施されていて、安全な学校環境が維持されている点は評価できる。・今後はネット上の安全（個人情報の流出、位置情報の取り扱い、なりすまし被害等）も安全管理の一環として意識していくと、より時代に即した対応になるのではないかと。・大勢の職員が、それぞれが気付いた不具合を情報共有する仕組みはあるのか。効率的に修繕等を進めるようにする必要がある。・登下校についてのマナーは全体としては良い。しかし自転車のルールの徹底やヘルメットの着用など、自分の命を守ることはもっと意識してほしい。・通学路の安全確保については地域からも継続して声を上げていきたい。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none">・昨今、SNS上でいじめや暴力動画が出回り、中高生の人権意識の低さが心配になる。普段から人の気持ちを大切にすることをあらゆる機会を通して子どもたちに浸透させてほしい。・生徒アンケートの「先生方が相談に乗ってくれる」という問いで9割以上の生徒が肯定的な回答しているので、先生方が生徒を見守っている姿勢がうかがえる。・子どもたちは先生に安心感を持っているようだ。・「いじめは全体に許されない」と考える生徒が96%はすばらしいが、SNS上のトラブルは表面化しにくい。情報機器のルールを守っている生徒が75%なのは、4人に1人はルールを十分に意識できていないことでもある。人を傷つけない発信の仕方など、情報モラル教育の充実が必要。外部講師やIT企業との連携も有効だと思う。・インターネットの利用については親を含めた研修も必要ではないか。
学習指導	<ul style="list-style-type: none">・家庭学習の割合が低い。授業は楽しいと答えている生徒も多いが、そうではない生徒も1割ほどいる。わからないことを先生に尋ねることができないのはコミュニケーションも苦手なのではないか。・家庭学習をしている生徒の割合が68%で、前期アンケートからの改善がない。授業改善は進んでいるので、家庭学習にはICTやアプリの活用など自発的に取り組みやすい仕組みを検討してほしい。・教えることは本当に大変なことだと思うが、先生方は色々と工夫して指導されている。授業がわかりやすいという生徒が多いのもその成果である。